

# 新しい函館のためのいかロボットの開発と運用 (全体)

服部晟 (Akira Hattori) 渡邊太也 (Hiroya Watanabe) 須原佳祐 (Keisuke Suhara) 菊池雅和 (Masakazu Kikuti) 新山健太 (Kenta Niiyama)  
 本部健太 (Kenta Hombe) 蛭澤諒太 (Ryota Ebisawa) 吉田雄 (Yu Yoshida) 山本大貴 (Taiki Yamamoto) 齊藤峻大 (Syundai Saito)  
 伊藤壮大 (Takehiro Ito) 本間征大 (Masahiro Honma)

## 概要

函館観光用ロボット IKABO の製作、運営、広報の三つのグループに分けて活動する。本プロジェクトはいかロボットを使って様々なイベントに参加し、ロボットに興味を持ってもらうことで、函館を情報産業の集積地にすることを目的としている。また、来年度の新幹線新函館北斗間開業の際に観光客を迎える IKABO11 号機を製作する。

Our project is performing that production, operation and publicity of Hakodate tourism robot IKABO by three group. That is aimed at making Hakodate an accumulation place of the information industry by participating in variety event with squid robot and letting People be interested in a robot. Also, we will create an IKABO 11Unit to welcome tourists at the time of new Shinkansen Hakodate Hokuto opening of next year.

## クラウドファンディング

前期から夏季休暇中までクラウドファンディングを利用し、資金集めを成功させるために活動していた。

はじめに、いかロボット自身の知名度を上げるとともにクラウドファンディングを行っていることを広めるために広報機関に取材要請をし、さらに twitter や Facebook でいかロボットのページを作り、活動内容を公開した。実際に新聞に掲載してもらい、多くの方から支持を頂いたが、目標金額である 300 万円には惜しくも到達せず、クラウドファンディングは失敗に終わった。

しかし、新聞紙の記事を見た方がこのプロジェクトに関心を持ち、寄付の意向を示し、支援して頂けることになった。そのためいかロボット 11 号機に必要な予算 300 万円を集めることができた。

クラウドファンディング自体は失敗に終わったが、クラウドファンディングを成功させようと画策した結果、努力が実を結び、予算を集めることができた。

READYFOR?	プロジェクトを探す	プロジェクトをはじめ	はじめての方へ	ログイン	新規登録
国内最大のクラウドファンディングREADYFORは、誰もがやりたいことを実現できる世の中を創ります。					
<b>イカロボットを完成させ北海道新幹線とともに函館を盛り上げたい</b>					
		渡邊 太也			
支援総額	432,000円				
目標金額	2,500,000円				
支援者数	13人				
残り日数	終了しました				
<b>プロジェクトは成立しませんでした。</b> このプロジェクトは 2015年9月8日(火) 23:00 に締め切られました。					

## 11号機製作

予算が集まり、いかロボット 11 号機の製作を開始した。

以前から打ち合わせを行っていたコムテック株式会社と共同製作した設計図でボディを外注し、現在ボディの出荷待ち状態である。ボディ以外の製作可能な部分を分担して製作に取り掛かっている。

まず製作班はいかロボットを動かすためのプログラムとキネクトを利用した動作認識機能の開発を行っている。

企画班はいかロボットの頭の製作と音声の作成を行っている。

グッズ班は操作画面インターフェースの開発を行っている。

このように、全ての班が分担していかロボット 11 号機に向けて活動を行っている。

## 今後の展望

新幹線開通イベントまでにはいかロボット 11 号機を完成させる。

完成後、いかロボット 11 号機を使ったイベントを企画、参加する。

その際発生した問題や課題を見つけ、解決案を考え来年度のプロジェクトメンバーに引き継ぐ。